

目 次

〔第14回電気泳動学会児玉賞受賞講演〕

ヒトリンパ球の細胞電気泳動的研究 東京慈恵医大・第3内科 橋本 信也.....(77)

〔シンポジウム〕 人類遺伝学に果した電気泳動法の役割

序

1. 酵素蛋白分画法としての電気泳動法
  2. 平板式等電点分画法によるヒト赤血球および組織のアイソザイムパターン
  3. 血清型、血球酵素型の多型性
  4. 赤血球酵素の新変異型
  5. アルカリ fosfアターゼアイソザイムの遺伝的統御  
  —シクロ糖蛋白質としての epigenetic  
  modificationについて—
- 追加. 糖蛋白酵素として見たアルカリ性fosfアターゼの臓器起源
6. アミラーゼアイソザイムの遺伝的検討と疾患における変動

阪大・医・遺伝学  
京都府立医大・第3内科  
山口大・医・第3内科  
杏林大・医・法医学  
京都府立医大・第3内科  
東大・理・人類学  
阪大・医・遺伝学  
山本 学  
尾本 恵市  
佐子山豈彦  
埼玉医大・生化学  
神戸大・医・第2内科  
橋田 二一  
大槻 真  
萩田 善一  
細川 計明  
中島 弘二  
原田 勝二  
山本 学  
尾本 恵市  
佐子山豈彦  
萩田 二一  
大槻 真  
(83)  
(87)  
(91)  
(95)  
(101)  
(106)  
(111)  
(113)

〔第26回電気泳動学会総会講演抄録〕

1. ムコ多糖症第III型(Sanfilippo症)尿中 heparan sulfate の多様性について
2. スルファン化ムコ多糖体と補体との免疫電気泳動的分析、第3報
3. 産婦人科領域における C3 proactivator、第3報
4. 血清中  $\alpha_1$ -酸性糖蛋白質の多形解析のための直接 disc 電気泳動法
5. ヒト血清内における  $\alpha_1$ -antitrypsin の存在様式について
6. 微量電気泳動法による出生前診断法の検討
7. 殺虫剤抵抗性の遺伝生化学的研究  
  —有機リン剤抵抗性イエペニの esterase 活性について、その3—
8. 薄層ポリアクリルアミドゲル等電点分画法による赤血球酵素の分析  
  —UV 法による酵素活性バンドの検出—
9. ラット肝 arginase の等電点電気泳動像

久留米大・医進・化学  
高園 磯子・山下青史朗..(119)  
師井 敏裕・村上 竜夫  
田中 幸男  
日本医大・産婦人科  
大川 了汎・大川 公康..(120)  
日本医大・産婦人科  
大橋 敏克・大川 了汎..(121)  
大川 公康  
実験動物中央研  
平田真理子・谷本 義文..(122)  
愛知医大・第1内科  
東京薬大  
澤木 健二・北川 道弘..(123)  
杉浦 衛  
阪大・医・遺伝学  
阪大・医・附属病院・中檢  
萩田 善一  
山村 研一  
高知女子大・動物学  
松崎沙和子..(125)  
山口大・医・第3内科  
中島 弘二・山内 勝世..(126)  
三輪 史朗  
昭和大・医・中央化学  
飯島 武・佐藤 永雄..(127)

|  |  |   |
|--|--|---|
| 10. 哺乳動物並びに肉食負荷家兎の肝組織の LDH アイソザイムについて  | 東京慈恵医科大学 第3分院・内科   | 荻原 正雄・今泉 忠芳..(128)<br>松岡 繼明・山口 陽<br>堀口 正晴                     |
| 11. 興味ある LDH anomaly の検索   | 阪大・医・附属病院・中検   | 田中富美子・網野 信行..(129)<br>林 長蔵・宮井 潔<br>熊原 雄一                      |
| 12. 血清 esterase enzymogram の検討<br>—各種肝疾患について—  | 福岡市医師会病院・内科  | 長嶺 光隆.....(130)   |
| 13. 調製ディスク泳動法によるばれいしょフォスフォリラーゼの精製、第1報<br>—泳動条件の検討とグリコーゲン非依存性 フォスフォリラーゼ (PL-I) の精製—             | 山口大・医・生化学  | 竹尾 和典・藤本 正憲..(131)<br>鈴野 亮輔・緒方 晴樹<br>桑原 亮・中山 晴樹<br>中村正二郎      |
| 14. 調製ディスク泳動法によるばれいしょフォスフォリラーゼの精製、第2報<br>—親和電気泳動法を利用したグリコーゲン 依存性 フォスフォリラーゼ (PL-d) の精製—         | 山口大・医・生化学  | 鈴野 亮輔・竹尾 和典..(131)<br>藤本 正憲・緒方 晴樹<br>桑原 亮・中山 晴樹<br>中村正二郎      |
| 15. アルカリ性 フォスファターゼと concanavalin A の相互作用、第1報<br>—アルカリ性 フォスファターゼ活性の concanavalin A による賦活化と阻害作用— | 埼玉医大・生化学   | 菰田 二一・坂岸 良克..(132)  |
| 16. Affinity electrophoresis のための polyacrylamide gradient gel slab 電気泳動装置の試作                   | 東京学芸大・生物学  | 金松 知幸・井上 勤..(133)   |
| 17. ディスクゲル等電点分離法の工夫と改良<br>—特に pI マーカー蛋白質の応用について—   | オリエンタル酵母工業<br>阪大・蛋白研・酵素反応  | 鈴木 康生.....(134)<br>宮崎 香・堀尾 武一                                 |
| 18. 電位勾配検出型細管式等速電気泳動の 2, 3 の応用と定性指標について  | 日本化薬(株) 薬品研究所<br>島津製作所   | 加藤 和夫・宮崎 浩..(135)<br>秋山 純一・春木 達郎                              |
| 19. 等速泳動法による血清蛋白の分離  | 埼玉医大・生化学<br>アムコ・研究開発部  | 坂岸 良克.....(136)<br>大久保道子・箕輪 正和                                |
| 20. 低 pH 域等電点分画法による cobalophilin の分析   | 札幌医大・癌研・内科   | 板谷 晴隆・中沢 修..(137)<br>福田 守道                                    |
| 21. Affinity chromatography による抗カタラーゼ抗体の単離精製   | 昭和大・薬・生理化学   | 川又 文子・東 恵彦..(136)   |
| 22. Affinity chromatography による ferritin の精製   | 昭和大・医・生化学  | 牧野 義彰・鄭 一世..(139)<br>綿野 邦夫                                    |
| 23. ポリアクリルアミドゲル電気泳動法を用いた carcinoplacental alkaline phosphatase (CPALP) 検出法について                 | 阪大・保健管理センター<br>阪大・医・第1内科<br>阪大・医・第1内科<br>阪大・医・遺伝学<br>阪大・保健管理センター | 益沢 学.....(140)<br>鎌田 武信<br>佐子山豈彦・荻田 善一<br>伊藤 文雄               |
| 24. 胎児型および成人型血色素の鎖特異性と分子生物学的性状   | 東大・医・第1病理学   | 田口 智也・浅川 英男..(141)<br>酒井 亮二・森 亘                               |
| 25. 消化器癌の血清 AFP 値<br>—特に肝転移例について—  | 新潟県立ガンセンター<br>外科   | 赤井 貞彦・加藤 清..(142)   |
| 26. エチオニン急性肝障害時のラット血清 $\alpha$ -fetoprotein 濃度の増加とその電気泳動的性質について                                | 岡山大・医・癌研・病理学<br>岡山大・医・第1内科                                       | 宮崎 正博・渡辺 明治..(143)<br>武田 和久・佐藤 二郎                             |
| 27. 3'-Me-DAB 肝癌モデルにおける胎児性蛋白と血清蛋白像の解析  | 札幌医大・第1内科  | 小池 容史・小谷 俊一..(144)<br>菅 充生・川原田 信<br>赤保内良和・坂本 真一<br>谷内 昭・和田 武雄 |
| 28. 酵素標識抗体を用いた SRID 法による IgE の定量   | 日大・医・駿河台病院<br>中野病院<br>日大・医・臨床病理学<br>中野土屋                         | 小沢 憲治・松谷 牧子..(145)<br>佐藤 和身<br>中野 栄二・河野 均也<br>土屋 俊夫           |
| 29. Fast type の alloalbuminemia の検討  | 新潟大・医・附属病院<br>中  | 杉田 収・富山 八重..(146)<br>矢田 悅子・屋形 稔                               |
| 30. $^{60}\text{Co}$ 全身一時照射の家兎血清蛋白に及ぼす影響について   | 順天堂大・医・放射線科  | 円尾 邦信・土屋 豊..(147)   |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 31. 特発性網膜剥離下液の免疫化学的分析  | 愛媛大・医・眼科                                 | 浜田 幸子.....(148)                               |
| 32. 亜急性硬化性全脳炎と再燃性慢性進行性多癡性の脳炎の髄液蛋白所見  | 九大・医・脳研・神経内科                             | 岩下 宏.....(149)                                |
| 33. 尿蛋白の SDS ポリアクリルアミド電気泳動   | 東京医歯大・医・附属病院<br>検査部・生化学                  | 金森きよ子・間中 純子..(150)<br>長裕子・佐野紀代子<br>保崎 清人      |
| 34. 尿蛋白像解析による腎の病態鑑別  | 富山市民病院<br>研究検査科                          | 高柳 尚立.....(151)                               |
| 35. 電気泳動時支持体の差によるビリルビン泳動帶の変動について   | 新日鐵・八幡製鉄所病院<br>内上・検査科                    | 小野 猛.....(152)                                |
| 36. 血清リポ蛋白質 disc 電気泳動法によって区別される基本的電気泳動 patterns の特徴と臨床的意義                    | 山口大・医・第2内科                               | 田中 司・江藤 公喜<br>和田 光夫・薦田 忠<br>南園 赤松 明<br>三瀬 淳一  |
| 37. 血清リポ蛋白質電気泳動分析の汎紙法、disc 法、簡易 disc キット法の比較検討                               | 柳井病院                                     | 平川 信男・辻英二・中岡明<br>横山 赤松和田 光夫                   |
| 38. $\beta$ -リポ蛋白の免疫化学的定量法について   | 九大・医・第3内科                                | 吉賀 俊逸・平山 千里<br>井林 博                           |
| 39. ヒト $\beta$ -リポ蛋白について   | 緒方医学化学会研<br>東京都赤十字血液センター<br>金沢大・がん研・分子免疫 | 井上 太助・広橋和夫<br>相河 俊介                           |
| 40. 血清リポ蛋白質脂質構成分析法に関する検討   | 山口大・医・第2内科                               | 南園 忠・和田洋治<br>赤松 明・半田和彦<br>砂田 高生<br>藤井 三瀬淳一    |
| 41. 虚血性心疾患多発家系に多数認められた extra pre- $\beta$ lipoprotein とその性状について              | 放射線影響研、広島臨床検査部                           | 大野 尚文・木村 康一..(158)                            |
| 42. Ferritin に関する研究、第14報<br>—subunit heterogeneity について—                     | 札幌医大・癌研・内科                               | 石谷 邦彦・新津洋司郎..(159)<br>漆崎 一朗                   |
| 43. 人 fibrinogen の heterogeneity に関する研究、<br>第6報<br>—fragment D と E の抽出とその分析— | 札幌医大・癌研・内科                               | 近江 直仁・石谷 邦彦..(160)<br>新津洋司郎・漆崎 一朗             |
| 44. 融光標識による髄液蛋白の分画   | 慶大・医・附属病院<br>中検・臨床化学会                    | 渥美 和代・菅野 刚史..(161)                            |
| 45. セルロースアセテート膜 "Separax-S" の検討  | 自治医大・臨床病理部                               | 堀井 康司   |
| 46. 免疫学的多種蛋白同時定量レポートの試作  | 日大・医・板橋病院<br>臨床検査科                       | 山岸 安子・河合 忠<br>河合 寿美子・河野 均也                    |
| 47. ヒト血清の電気泳動的蛋白分画について   | 日大・医・臨床病理学                               | 中野 栄二・河野 均也                                   |
| 48. 血清蛋白分画の年令別、性別正常値   | 日大・医・駿河台病院<br>中                          | 土屋 俊夫<br>小沢 憲治                                |
| 49. 血清 transferrin 測定の臨床的意義  | 緒方医学化学会研<br>東京都赤十字血液センター<br>金沢大・がん研・分子免疫 | 広橋 憲・井上 太助..(164)<br>相河 和夫<br>右田 俊介           |
| 50. 人工心肺使用における血清蛋白の変動  | 金沢大・がん研・分子免疫                             | 堀内 桂子・右田 俊介..(165)                            |
| 51. 糖尿病における血清蛋白の動態   | 東京都赤十字血液センター<br>緒方医学化学会研<br>大阪医大・第2内科    | 相河 和夫<br>広橋 憲・井上 太助                           |
|  | 同上・臨床病理学<br>金沢大・がん研・分子免疫                 | 津本 清次・戸田 均..(166)<br>大藪 博・杉山 宗平<br>木本 修造・陰山 克 |
|  | 友田 恒典                                    |   |
|  | 大柿 悟・右田 俊介..(167)                        |   |
|  | 有田 穎二・塩田 善朗..(168)                       |   |
|  | 松崎 稔<br>近藤猪一郎                            |   |
|  | 田中 利彦                                    |   |
|  | 長谷川温雄                                    |   |
|  | 斐場 弘道・森 知恵子                              |   |

52. 赤毛サルの血清免疫グロブリンおよびアルブミンの定量 沼田 弘明.....(169)
53. ヒトアルブミンの種属特異性に関する研究 久留米大・医・法医学 秋山 和子・井上 徳治..(170)
54. 広島・長崎在住者における赤血球 esterase D の多型 放射線影響研, 広島 原 三郎
55. 広島・長崎在住者における transferrin の変異について 放射線影響研, 広島 山下 順子・木村 康一..(171)
- 佐藤千代子
- 同 上, 長崎 升本美代子・竹谷 章子..(172)
56. 肺結核患者における体液免疫不全について 国立東名古屋病院・内科 村上 誠一・尾崎 恭子..(173)
- 同 上・研究検査科 岸本 真也・大野 尚文..(172)
57. ネフローゼ症候群における免疫グロブリン、 上田 尚紀・佐藤千代子  
特に IgE の経時的変動について 馬場輝実子
- 弘前大・医・第2内科 今井 昌雄.....(174)
- 黎明郷リハビリテーション病院 村上 誠一・長谷川幸弘..(174)
- 及川 広則・山辺 英影..(174)
- 沼畠 博雄・石田 強..(174)
- 大池弥三郎
58. IgD 型および IgE 型 M-蛋白の電気泳動的 東京 S R L 梅田 敬子・田中 愛子..(175)
- ならびに免疫学的検討 自治医大・臨床病理学 川尻 由子・大槻 建治..(175)
- 河合 英樹・桜林郁之介..(175)
59. FITC 標識抗  $\kappa$ , 抗  $\lambda$  血清による M-成分 L 鎮型判定の試み 岡山大・医・第2内科 藤田 峰治・小林 完治..(176)
- 微細 IgM 異常症例について— 入野 昭三・瀬崎 達雄..(176)
60. 本態性 M-蛋白血症の臨床病理学的研究 国立岡山病院 松田 重三・安部 英..(177)
- 帝京大・医・第1内科 日大・医・臨床病理学 青木 紀生・河野 均也..(177)
- 自治医大・臨床病理学 土屋 俊夫..(177)
- 河合 忠..(177)
61. アミロイドーシスと免疫グロブリン異常 京大・医・第1内科 高月 清・森 邦子..(178)
- 内山 鞍・佐川 公矯..(178)
62. Cryoglobulin の検討, 第3報 日大・医・板橋病院 大島寿美子・岩田 進..(179)
- M 蛋白の検出について— 臨床検査科 日大・医・臨床病理学 河野 均也・土屋 俊夫..(179)
63. ASO 活性をもった M-蛋白に関する研究 64. 免疫電気泳動上稀な所見を示す IgG 1- $\lambda$  型骨髓腫の1例, 統報 自治医大・臨床病理学 大谷 英樹・河合 忠..(180)
- 新潟県立ガソセンター 医学 岩田 弘・山岸 安子..(180)
- 化 生 学 関口 芳子・岩淵 勉..(180)
65. Tetramer Bence Jones 蛋白の免疫化学的研究 66. Tetramer と推定される Bence Jones 蛋白 67. In vivo, in vitro における IgA の消化酵素による分解態度について 68. 中耳分泌型 IgA の菌体外毒素に対する抗体活性 69. 邪延感作状態における单クローナル性  $\gamma$ -グロブリン血症 70. ミエローマ IgD の物理化学的性状
- 校正病院・内科 小島 光恵.....(181)
- 北大・医・第2内科 小林 清一・中川 昌一..(182)
- 虎の門病院・臨床化学 同 吉場 昭子・北村 元仕..(183)
- 上・消化器科
- ミドリ十字・中央研 瓜生 勝寛・上村 八尋..(184)
- 京大・医・第1内科 船越 哲正..(184)
- 山口大・医・耳鼻咽喉科 加納 正..(184)
- 茂木 五郎・前田 昇一..(185)
- 吉田 豊治・渡辺 徳武..(185)
- 塩見寿太郎.....(186)
- 国立福知山病院 山口 希・田中多恵子..(186)
- 研究検査科 京都府立医科大学 佐々木善二・川井 啓市..(186)
- 衆衛生大学 同上・第3内科 安芸 宏信..(186)
- 松下病院・中検 安達 弘..(186)
- 東北大・医・細菌学 白石 広行・助野 典義..(187)
- 同上・第2内科 石田名香雄..(187)
- 鈴木 隆城・小野寺清寿..(187)